

鹿児島県鹿児島市

活動名

学校支援ボランティア事業による活動

関係する学校

谷山小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日			委員数	児童生徒数	学級数		

- 活動の概要・経緯**
- 平成24年度から本事業を実施しているが、実施以前からボランティア団体（「よみきかせたい」、「子ども守りたい」など）が組織され、活動実績もあったことから、地域ぐるみで学校を支援するという意識が高く、本事業に対する理解も高かった。
 - 教科などの学習支援を行うことで、これまで以上に学校と地域との関わりが増え、連携も強化された。
 - 住民が地域における子供の活動にも関心を持つようになり、子供を見守る環境が整ってきた。
 - コーディネーターが地域住民と密接に関わりながら活動しやすい雰囲気づくりに努め、本事業の広報・啓発を行ってきた。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 朝の読み聞かせを行う「よみきかせたい」は、保護者を中心に組織されているが、新たに地域のボランティアを受け入れて組織拡大を図っている。
- 登下校の見守りを行う「子ども守りたい」は、町内会が中心となり組織されており、定期的に学校と活動時間の確認や活動状況の意見交換を行い、また、子供と触れ合う場も設定されている。
- 学校行事等を支援する「谷小応援団」は、おやじの会が中心となり、もちつき大会や運動会の準備などの支援活動を実施している。
- 学校支援を通して、地域住民と保護者との世代を超えた交流が行われ、地域全体の教育力の向上に寄与しており、また、活動された方の口コミによりボランティア登録数も増えてきている。

【実施に当たっての工夫】

- コーディネーターは、毎年、年度初めに教職員に対して本事業の目的やねらい、実施方法などについて説明会を実施している。
- 学校支援ボランティア活動を教育課程に位置付けており、また、教科主任や学年主任などの担当者には、前年度からの引継ぎをお願いしている。
- 職員室やコーディネーター執務室にボランティア活動予定表を掲示し、活動の周知を図っている。



よみきかせたい

事業を実施して

- ボランティアの支援により、教師が子供と向き合うゆとりが生まれるとともに、地域の方に学校の様子を知ってもらうよい機会となっている。
- 教職員と地域住民とが共に活動する機会が増えたことにより、学校と地域のつながりが一層深まっている。
- ボランティア同士の交流の機会となるなど、ボランティアの生きがいづくりにも寄与している。
- 校区公民館運営審議委員会から地域コミュニティ協議会へ移行したことを受けて、これまで同様に「地域教育協議会」の位置付けを依頼し、設置することで地域と一体となった取組になるよう努めている。

その他

- 家庭科（5年：初めてのミシン 6年：エプロン制作、三色野菜の油炒め）や図画工作科（4年：切って切って木の世界）、生活科（1年：昔の遊びをしてみよう）など、特に安全面に配慮する必要がある学習においては、教師の補助役として道具の安全な扱い方などの支援を行っている。



子ども守りたい